

「かづの観光物産公社に対する鹿角市長の発言についての調査委員会開催に関する請願」を趣旨採択

2月臨時会において、
「かづの観光物産公社に
対する鹿角市長の発言
についての調査委員会
開催に関する請願」を
審査いたしました。

審査を付託された議
会運営委員会では、請
願項目にある事実の確
認については、調査委
員会を設置せずとも既
存の委員会での対応が
可能であるとの意見が
出され、全会一致で「趣
旨採択すべきもの」と
決定し、本会議におい
て審査結果を報告しま
した。

これに対し、「不採
択とすべき」との反対
討論がなされ、起立採
決の結果、賛成多数に
より、「趣旨採択」と
決しました。
今後、議会運営委員
会において、請願事項
の調査を行ってまいり
ます。

反対討論

議会の議決権等が及
ばない第三セクター経
営者と当時者同士の紛
争に関して、白黒つけ
てほしいというものを
要請する民事訴訟に近
い性質のものと捉えて
おり、市議会に求める
のではなく、法的効力
のある裁判所での民事
訴訟や調停を利用する
べきだと考える。また、
議会が調査をした後の
結論に法的拘束力はな
く、その調査の質も担
保することが難しい一
方で、その調査がもた
らす社会的影響等につ
いて、議会と第三セク
ターの関係性において
不適切な介入事例を残
すことにもなりかねな
いと考える。

このことから、前述
の懸念を避ける形で結
論が出されたとしても、
時間をかける割に根本
的な解決にはつながら
ない。

ず、むしろその分断を
助長してしまう可能性
もある。この問題は、
当事者間の議論が深ま
っていないということ
が問題の本質であり、
鹿角市の利益を損ねて
いる部分もそこにある
と考える。

議会として行動する
のであれば、冷静な議
論を両者に促し、スム
ーズなやり取りとなる
よう建設的な行動を取
ることが鹿角市全体の
利益を考える議会の方
向性であることから、
「不採択」とすべきで
ある。

(笹本真司議員)

この問題は、当事者
間で解決できるもので
あると考える。それが
今、どのようなになって
いるのか分からない
状態の中で、議会がそ
れに介入をし調査をす
るとするのは、ふさわ
しくないと判断するこ
とから、趣旨採択には
反対である。

(丸岡孝文議員)

令和6年2月臨時会 議案賛否一覧 (賛否が分かれた議案のみ)

議席番号及び議員名		審議結果		各議員の賛否													
				鹿真会・公明					誠心会			鹿山会		無会派			
				湯瀬弘充	金澤大輔	館花一仁	栗山尚記	児玉悦朗	兎澤祐一	田村富男	中山一男	成田哲男	浅石昌敏	倉岡誠	宮野和秀	湯瀬誠喜	戸田芳孝
件名	賛成	反対															
6請願第1号 かつの観光物産公社に対する鹿角市長の発言についての調査委員会開催に関する請願	14	2	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○

※「○」＝賛成 「●」＝反対
※ 議長は採決には加わりません。
※ 6請願第1号は、議会運営委員会の審査結果報告(趣旨採択)のとおり決することに賛成する者の起立を求め、採決を行いました。

編集後記

令和6年3月定例会の主
な内容を報告させていた
きました。

さて、議会広報委員会
一つの役割でもある「市民
と語る会」は、コロナ禍に
よる長い行動制限も緩和さ
れたことから再開しており
ます。

これまでのように、市民
の皆さまからお集まりいた
だく方法ではなく、皆さま
の元に向く形に改め、気
軽に意見交換ができるよう
に開催方法の見直しを行っ
てまいりました。

まだまだ改善点などがあ
ると思いますが、試行錯誤
しながら、様々な意見を
くお聴きかせいただく機
会を増やしてまいりたいと
思っております。

(湯瀬誠喜)

議会広報委員会
委員長 金澤大輔
副委員長 湯瀬弘充
委員 湯瀬昌敏
委員 浅石誠喜
委員 湯瀬真司